平成31年4月7日執行

北海道議会議員選挙選挙公報（小樽市選挙区）

北海道選挙管理委員会

立憲民主党公認

かわすみ宗之介（そうのすけ）

これからも小樽と北海道のために走り続けます！

まかせて下さい。これからの小樽・北海道

小樽の皆様に支えられ、この4年間を走り続けてきました。走り続ける中で見えてきたこと、それは誰もがこの小樽・北海道で暮らし続けたいと願っていることです。「小樽に暮らしています」と話すとだれもが「素敵な街にお住まいですね」と返してくれます。そんなだれもが憧れる小樽や北海道。しかし北海道の人口はこの16年間で約35万人減少しました。

生活に欠かせない交通網は縮小し、都市部と地方の福祉・医療の格差も広がりました。また、教育の機会均等を奪う高校の統廃合などの課題も見えてきました。

私たちにとって安心して働き、暮らせる北海道、誰もが憧れる北海道であるために、私はこの流れに歯止めをかけてまいります。未来を創る子どもたちの願い、社会を支え働く若者・働き盛り・子育て世代の悩みや不安、小樽・北海道を作ってきた高齢者の皆さんの生活の心配、全てを受け止め、これからも小樽・北海道のために走り続けます。

かわすみ宗之介　責任世代　45才

1. いつまでも働き・住み続けられる北海道へ

憲法に基づき、人権が大切にされる地域社会をつくります。

地域で働く人材の育成に努め、人口減少に歯止めをかけます。

地域で頑張る企業を支えるとりくみ（事業継承・経営安定化等）を加速します。

地域医療体制の充実、医師の地域枠拡大にとりくみます。

地域防災体制の充実・強化にとりくみます。

原発ゼロをめざし、新エネルギー・再生エネルギー活用推進、地域に適した電気の地産地消にとりくみます。

新幹線延伸にともなう函館本線JR経営分離に関し、路線維持を求めます。

地域に適した交通体系のあり方について検討をすすめます。

2. 何度でも訪れたい北海道へ

カジノ施設によらない自然・文化・歴史遺産等を生かした持続可能な観光メニューを創出します。

多様な交通体系を活用した周遊型の北海道観光を提供します。

北海道新幹線延伸にかかわる新小樽駅、小樽港国際クルーズ船対応ターミナル建設を含めた観光ビジョンを早期にまとめます。

インバウンド観光客拡大に対しソフト・ハード両面から受け入れ体制を整えます。

適正な民泊を推進し、地域振興・税収増にとりくみます。

3. 子育て・教育を大切にする北海道へ

子どもたち一人ひとりを大切にするために教職員増をすすめます。

社会に目を向け、自ら考え行動する学力を育成する教育をすすめます。

教育の機会均等を保障するため、地域の高校維持にとりくみます。

放課後児童クラブの質の確保・支援員の処遇改善につとめます。

保育士不足解消、待遇改善、研修の機会保障につとめます。

幼稚園・認定こども園・保育所における幼児教育・保育の充実につとめます。

プロフィール

1973年生まれ 名古屋市出身45歳
1992年　私立愛知高等学校卒業
1996年　北海道教育大学旭川校卒業
1996年～教員として帯広市立光南小・喜茂別町立鈴川小・仁木町立仁木小・小樽市立豊倉小・望洋台小勤務
2012年～北海道教職員組合中央執行委員
2015年　北海道議会議員初当選

趣　味

マラソン（サブスリー）・地図解読・ロシア語学習・植物育成・沖縄料理作り

家族構成

妻・4人の娘・ネコ

私たちも応援します

立憲民主党 代表	枝野幸男
衆議院議員	本多平直
参議院議員	はちろ吉雄

無所属

岸　伸一

39歳

消費増税反対　移民法反対　電力完全自由化反対

再エネ発電賦課金廃止　　気軽に選挙に立候補する世の中にしよう！　　自然破壊するメガソーラー反対

外国人国費留学生廃止　水道民営化反対　外国人扶養控除廃止

皆さん初めまして、道議に立候補した岸伸一です。去年の十月末から一万枚のビラを配りました。迷惑に感じた人もいると思うので、この場を借りてお詫びします。すいませんでした。

自分は誇れる肩書きや学歴もない単なる肉体労働者です。立候補理由は移民法や水道民営化や消費増税など生活を破壊する政策が正しいとする政府に反対の声を届ける為です。最近まで自分は仕事を掛け持ちして生活していました。今は何とか家庭を持ち、奥さんと二人で働き、子供を育てています。貧乏でも平凡な生活を過ごせるなら満足でした。しかし、これからは望んでもいない外国人労働者と低賃金競争をさせられ、消費増税と電気や水など生命インフラが破壊され、徐々に生活が貧しくなっていくと思います。今の日本の危機をポスターと選挙公報で広めたいです。そして自分が立候補する事で、たった一人でも選挙に出て、公の場で皆に主張する事が可能だと証明します。今後は政党とか関係なく国を良くしたい人が選挙に立候補して、政治を身近な存在にしていく事が必要だと思います。その中から日本を救う救世主が現れると思います。ちなみに選挙費用は自腹で公費負担は使いません。ポスターと雑費で四万円くらいでした。自分は名前だけ広めて、選挙に勝つ為だけの選挙戦はしません。そんな選挙戦は各政党の候補者が政党の為に頑張れば良いと思います。自分はポスター張りと選挙公報で早めに選挙戦は終了します。皆も立候補して下さい。楽しいですよ！

日本の未来（最悪なパターン）

移民により治安が悪化、警察の護衛なしでは消防車や救急車が入れない地区が出来る。昔は日本と同じ位の治安だったスウェーデンではそうなりました。

インフラ自由化により、質は低下して料金は上がります。水も電気も失敗事例はヨーロッパやアメリカなどにあります。

消費増税で経済成長出来ず世界で日本だけが貧乏になります。最近外国人観光客が増えた理由は日本が安いからです。アメリカなら平均時給三千円、ラーメンの値段は二千円らしいです。いつの間にか日本は衰退国になっていました。

菊地よう子

日本共産党

小樽のみなさんに訴えたい 菊地よう子 3つの役割

市民と野党の共同で

消費税10％増税・9条改憲ストップ みんなが笑顔で暮らせる北海道をめざします

子育て支援、災害対策、バリアフリー化実現

① くらしに寄り添って、願い実現する議席

菊地よう子は、「障がい児にも学童保育を」の運動以来、市議・道議12年、くらしの声をみんなで一緒に実現してきました。この経験を活かします。

ムダをけずり、くらし応援 北海道に原発・カジノNO

② 消費税増税、憲法改悪ストップの日本共産党の議席

菊地よう子は、党をつくって97年、反戦平和をつらぬき、安倍政権の消費税10％増税、憲法改悪、原発再稼働、カジノ推進に正面から対決する日本共産党の議員です。

女性の立場でやさしい目線で

③ 小樽の女性道議として、女性の声届ける議席

小樽市は、全国の5万人以上の市で女性の比率が最も高い自治体です。菊地よう子は、労働組合、女性運動の経験活かして頑張ります。

菊地よう子の提案

- 高すぎる国保料の引き下げ
- 子どもの医療費は中学校卒業まで無料化
- 北海道にカジノ賭博いらない
- 地元企業と農漁業、働く人を応援
- 泊原発再稼働せずに廃炉
- 被災者支援を強め、災害に強い北海道をつくる
- 国と北海道の責任で鉄路維持
- 道議の海外視察中止を

活躍を期待します

◎みんなの小樽代表　鳴海一芳
◎保育士　藤原名美子
◎北海道勤医協小樽診療所所長　中井秀紀
◎参議院議員　紙智子

プロフィール

1951年　礼文島須古頓生まれ
1968年　小樽市立住吉中学校卒業
1971年　小樽潮陵高校卒業
1973年　道立保育専門学院卒業　以後29年間保育士として、小樽で市立保育所に勤務
2003年　市議会議員初当選　2期務める
2015年　道議会議員初当選　1期

選挙に行こう！　そだねー！

投票日

投票時間　午前7時～午後8時

※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。

18歳以上の方が投票できます。

北海道知事選挙 北海道議会議員選挙

18歳からGO!

投票日に予定がある方は

期日前投票

土・日も投票できる

北海道知事選挙	3.22㊎▶4.6㊏
北海道議会議員選挙	3.30㊏▶4.6㊏

午前8時30分～午後8時

お仕事、冠婚葬祭、旅行やレジャーなどのご予定があり、投票日に投票できない方は、期日前投票をしましょう。期間中、毎日受け付けしています。※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。※詳しくは市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

北海道選挙管理委員会　http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hs/　道選管　検索

※この選挙公報は、候補者から提出のあった掲載文を原文のまま印刷したものです。

平成31年4月7日執行

北海道議会議員選挙選挙公報（小樽市選挙区）

北海道選挙管理委員会

自民党公認

佐藤ただひろ

小樽のために もう一度 道政へ

子育て家庭の支援や女性の社会復帰を応援

- ◆妊娠中から出産後の育児サポートを充実し子育ての喜びを支援する
- ◆子どものそばで働ける環境づくりを推進する
- ◆女性の再就職や地域での活動を支援する
- ◆子どもの成長に合わせた自立心・社会適応力・職業観を学ぶ教育をする
- ◆子どもの不登校や引きこもり、自殺を防ぐいじめ対策などを推進する

漁業・農業の振興や中小零細企業の支援と働きがいのある社会

- ◆地元中小零細企業の競争力強化と生産性向上への取り組みを加速する
- ◆漁業、農業の生産力向上と食品製造業の商品力を高める
- ◆観光振興のため港湾・高規格道路を整備し新幹線札幌早期開業を実現する
- ◆道内各地はもとより道外と世界を結ぶ物流ネットワークを構築する

お年寄りや障がいのある人が安心して生活できる社会

- ◆医療と介護を住み慣れた地域で利用できる地域包括ケアを充実する
- ◆障がいのある人と高齢者認知症の人の生活を地域で見守る体制を作る
- ◆町内会や商店街等が地域コミュニティーの担い手として取り組む活動を支える
- ◆地震や台風など自然災害から人命と財産を守る防災減災を推進する

■プロフィール

●昭和34年小樽生まれ小樽幼稚園、潮見台小、潮見台中、潮陵高校を経て
北海学園大学を卒業

●現在・過去の役職
小樽市総連合町会副会長、市P連副会長 平成19年小樽市議会議員初当選（1期）
平成23年北海道議会議員初当選（1期）

●家族　妻、長男、二男、母

自由民主党公認

八田（はった）もりしげ

北海道・小樽市の最大の財産は道民・市民です。

私の決意

平成での新年は最後となり、新たな時代の幕開けを見据えた北海道の発展に力を尽くすべく決意も新たにするところです。昨年は九月の北海道胆振東部地震や西日本での相次ぐ豪雨被害など、災害頻度が高くなってきております。国土の強靭化の下、北海道もまず震災被害からの復旧復興に取り組み、かつブラックアウト等による様々な産業被害からの脱却を目指すところでもあります。また、今北海道は外国からの多くの旅行者や外国人研修生、また地域におけるアイヌの皆様や障がいを持つ方々など、様々な人たちにより構成されており、そこにある多様性を認め共生する時代へと移り変わっており、それが新たな時代の一つの視点と考えます。この視点をしっかり踏まえ道政において引続き地道に活動をして参りますと共に、本年は挑戦の年でもあり、皆様の旧に倍しましてのご指導をお願い申し上げます。私のキャッチフレーズである「地方創生で、誇れる街、小樽へ‼」の実現のため、「北海道を元気にする10本の柱」に重点を置き実効ある政策を展開します。

地方創生で、誇れる街、小樽へ!!

北海道を元気にする10本の柱

- ・災害に強いまちづくり
- ・医療・介護の充実
- ・子育て支援制度の充実
- ・高齢化対策
- ・除排雪対策
- ・交通網全般の整備を促進
- ・道の駅を誘致
- ・北海道連合大学機構（仮称）での小樽商科大学の飛躍
- ・日本海地域の漁業振興を推進
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う波及効果

プロフィール

【北海道議会】
●議会運営委員会……………委員長
●環境生活常任委員会………委員
●産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会……………委員
【付属機関】
●石狩湾新港管理組合議会…………議員
【自民党道連】
●政務調査会………………会長代行
●選挙対策委員会…………筆頭副委員長
●自民党小樽支部…………顧問
【主な役職】
●（一財）北海道陸上競技協会……会長
●東海大学スキー部北海道後援会　会長
●東海大学国際文化学部地域創造学科　特別講師
●日本大学競技スポーツ部……情報戦略スタッフ
●日本大学校友会小樽支部……支部長
●小樽市立向陽中学校同窓会……会長
●郵雪会北後志支部……………顧問
●小樽四ッ葉学園後援会………副会長
●社会福祉法人恵盛会希望の家……理事長
●郵政事業振興議連……………幹事長
●北海道生活衛生同業組合振興議連…幹事長
●北海道地方議員連絡協議会　幹事長
●新幹線建設促進高速交通網調査会　事務局長

主な経歴

◆昭和31年12月27日生まれ
◆昭和55年3月　日本大学農獣医学部卒業
◆昭和55年10月　郵政省職員採用
◆平成7年6月　特定郵便局長　任命
◆平成17年9月　特定郵便局長　辞職
◆平成17年10月　介護施設　取締役会長　就任
◆平成19年4月　北海道議会議員　初当選
◆平成20年7月　小樽商科大学授業講座「政治学Ⅱ」修了
◆平成23年4月　北海道議会議員　2期目当選
◆平成27年4月　北海道議会議員　3期目当選
◆平成29年4月　社会福祉法人恵盛会希望の家　理事長　就任
◆平成29年6月　米国リッチモンド大学「環境学」修了

選挙に行こう！
そだねー！
4.7
日

投票日

投票時間｜午前7時～午後8時　※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。

18歳以上の方が投票できます。

北海道知事選挙
北海道議会議員選挙

18歳からGO!

投票日に予定がある方は

期日前投票
土・日も投票できる

北海道知事選挙　3.22(金)▶4.6(土)
北海道議会議員選挙　3.30(土)▶4.6(土)
午前8時30分～午後8時

お仕事、冠婚葬祭、旅行やレジャーなどのご予定があり、投票日に投票できない方は、期日前投票をしましょう。期間中、毎日受け付けしています。※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。※詳しくは市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

北海道選挙管理委員会
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hs/　道選管　検索

※この選挙公報は、候補者から提出のあった掲載文を原文のまま印刷したものです。